

## 【第3回 トルコ・日本技術者交流シンポジウム報告】

2013年5月17日、トルコのイスタンブール工科大学において、第3回トルコ・日本土木技術者交流シンポジウムが日本土木学会、トルコ土木学会及びイスタンブール工科大学の共催にて開催されました。

今回のシンポジウムは、『近年の地震からの教訓と減災という考え方 - 特にイズミット湾横断橋とゲブゼーイズミル自動車道への影響について』と題され、120人以上の参加者が集まりました。

講演者として日本から早稲田大学浜田教授を含む5名、トルコから土木学会トルコ支部長であるイスタンブール工科大学 Hasgür 教授を含む6名の計11名が講演を行いました。

橋梁に関する話題が主を占めましたが、地震や津波予測の重要性、将来の発生が予想される大規模災害への対応、さらには原子力発電所の事故時における放射性物質の集積についての話題も紹介されました。また、翌日には25名がイズミット湾横断橋の建設現場を訪問しました。



第3回トルコ・日本土木技術者交流シンポジウム



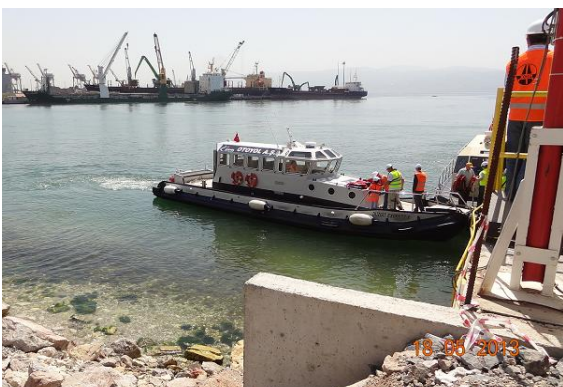
トルコ分会会長  
Zeki Hasgür 教授



第94代 JSCE 会長  
濱田政則教授



IAC トルコ Gr. リーダー  
アイダン・オメール教授



イズミット湾横断橋 建設現場